国土交通省中国地方整備局長より当協会並びに建機メーカー様６社に「災害対策関係功労者感謝状」が贈呈されました

～平成 30 年７月豪雨による被災地域への対応について～

一般社団法人日本建設機械レンタル協会

2018 年 10 月 10 日㈬午後 13 時 30 分から、広島県広島市の国土交通省中国地方整備局・建政部において、「災害対策関係功労者感謝状贈呈式」が行われ、当協会・仲田優晴副会長並びに日笠保彦中国支部長、当協会会員建機メーカー様６社が出席しました。

本感謝状は、『平成 30 年 7 月豪雨により甚大な被害を受けた被災地域への対応に際し、迅速かつ的確に災害対応に従事し、災害の予防及び応急対策・応急復旧並びに支援活動に大きく貢献した功績』に対し、当協会並びに当協会会員建機メーカー様６社に贈呈されたものです。

平成 30 年７月豪雨による被災地域対応については、発災後、当協会・角口賀敏会長が国土交通省へ出向き、“協会全体で、被災地域に対する迅速な支援を行いたい”との意思をお伝えしたところ、国土交通省から小型油圧ショベルの緊急派遣要請があり、７月 13 日、７月 18 日、７月 26 日と３回に亘り、広島県、岡山県、高知県に合計 59 台の小型油圧ショベルを派遣いたしました。

株式会社クボタ建機ジャパン、コベルコ建機株式会社、株式会社小松製作所、住友建機株式会社、日立建機日本株式会社、ヤンマー建機株式会社（※順不同、敬称略）の建機メーカー様６社による多大なるご支援とご協力、並びに中国地方、近畿地方及び九州地方の会員企業による厚いご支援とご協力を得られたことで、敏速な対応を行うことができました。

感謝状を贈呈された、国土交通省中国地方整備局・冨樫篤英企画部長からは、「平成 30 年 7 月豪雨による被災地域への対応については、ひとえに、本日お集まりいただいた皆様方が昼夜を分かたずご尽力いただいたことによるものであり、この場を借りて心より御礼を申し上げたい。

今回の災害発生規模を見ると、未曾有の災害と言える一方、現在では、10 年前、20 年前とは違う気候の変動により、今後も同様の大きな災害が発生することが懸念されます。

このような中、我々がすべきことは、今後もこのような大規模な災害が発生することを想定し、しっかりと社会インフラを管理することではないでしょうか。

一方、建設業界を取り巻く環境は大変厳しく、建設業に携わる技術者の方々が減っている現状がございます。このような中、我々“官”と本件にご協力をいただいた“民”の皆様方との連携を密にすることで、発災時の被災地域に対する『早期の対応』及び『被害状況に対する、的確かつ迅速な対応』を行っていきたいと考えています。

今後も、皆様方との連携を図り、一致団結して被災地域への対応に取り組んで参りたい。」とのお言葉をいただきました。

なお、本件において、当協会が派遣いたしました小型油圧ショベルについては、現在も愛媛県、高知県で稼働し、瓦礫処理や土砂の搬出作業を継続しております。

当協会では、今後もこのような大規模な自然災害が発生することを想定し、自衛隊並びに国土交通省、経済産業省などの行政機関並びに会員企業との連携を図るとともに、会員企業に対する積極的な被災地域支援への参加を働きかけて参ります。

今後も、本件に対するご支援・ご協力をいただいた会員メーカー様並びに会員企業の皆様の背中を追い、協会の持てる力を発揮し、発災時により敏速に対応できる体制を整え、社会に貢献して参ります。

感謝状の贈呈を受けた、㈱クボタ建機ジャパン、コベルコ建機㈱、㈱小松製作所、住友建機㈱、日立建機日本㈱、ヤンマー建機㈱、（一社）日本建設機械レンタル協会（※順不同、敬称略）

感謝状の贈呈を受ける、当協会・仲田優晴副会長㊨